

令和8年度

旭川地区の巻

事務局 旭川市立千代田小学校



旭川駅南口

旭川市小学校長会は、市内51校（併置校2校、教育大学附属旭川小学校）の校長で組織されている。

今年度は、転入4名、採用7名の新会員を迎え、4月の総会にて、活動方針や予算を決定するとともに、新年度役員を選出した。

I 本年度の活動方針

令和8年度の目標を「未来を見据え、質の高い学校経営を実現する校長会」と改訂し、併せて、「つむぐ」をキャッチフレーズに掲げ、未来志向の学校経営を一層推進していく。

国の第4期教育振興基本計画では、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げ、未来社会における教育の方向性を示している。また、次期学習指導要領改訂に向けた論点整理においては、基本的な考え方として、「生涯にわたり主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら自らの人生を舵取りできる、民主的で持続可能な創り手をみんなで育む」ことが示されている。

上川管内では、「北海道教育推進計画」のもと、多様性と包摂性を基盤とした教育活動全体を通して「子どもたち・教職員・地域・社会のウェルビーイングの実現」を目指し、「上川まなびフォーカス」に基づく「学びを引き出す」「学びを守る」「学びを広げる」取組が推進されている。

旭川市においては、「第2期旭川市学校教育基本計画」に基づき、その基本理念である「ふるさと旭川から未来へはばたく子どもの育成」に向け、「子どもたちに未来を生き抜く力を育む」「子どもたちの学びの環境を整える」「子どもたちとともに育て豊かな学びをつくる」という三つの目標の達成に向けた取組を進めている。

これらの方向性を踏まえ、各校長には、未来を見据えた新たな教育活動や価値観を積極的に創造するリーダーシップが求められる。今

後は、子どもたち一人一人の「好き」を育み「得意」を伸ばして学びへの意欲を高める取組と、子どもたちが当事者意識をもって多様な他者と対話・合意を図る取組を同時に進めることが重要である。また、校長は地域ぐるみで子どもたちを育む体制を基盤として、「社会に開かれた教育課程」の具現化を通して、「個人と社会のウェルビーイング」の向上を目指す中心的存在となり、厚い信頼を得る学校づくりを推進していく必要がある。

本校長会は、校長の職能向上と本市教育の振興・発展を図ることを目的に、これまでの成果を踏まえ、「学校をつむぐ」「人をつむぐ」「和をつむぐ」役割を担う組織として、引き続きリーダーシップを発揮していく。また、三つの「つむぐ」を実現するため、各部及び各地区校長会を両輪として位置付け、組織及び活動の一層の充実を図る。さらに、実践交流や意見表明、要望活動を行い、本市教育の発展に努める。

II 活動の重点

- 1 「学校をつむぐ」～「生きる力」を確実に育む創意と活力のある学校経営の推進
 - ①次期学習指導要領を見据えた学校経営の充実
 - ②育成を目指す資質・能力を確かに育む教育課程の創造
 - ③心豊かにたくましく生きる力を育てる指導の充実
 - ④学びの環境を整える教育諸条件の整備・充実
 - ⑤危機管理体制の充実と機能の強化

2 「人をつむぐ」～信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営の推進

- ①教職員の服務規律保持、適正な勤務管理
- ②教職員の強みを生かした信頼関係を基盤とする協働体制の確立
- ③教職員の資質能力の向上を図る体系的・計画的な研修の推進

3 「和をつむぐ」～会員の協働意識を高める組織強化と福利厚生 of 充実

- ①会員の協働意識の高揚と組織強化
- ②会員の福利厚生 of 充実
- ③全連小、道小と連携した教職員の処遇改善

Ⅲ 各部の活動方針

1 学校経営部

学校経営 of 充実・推進に関する情報提供及び学校課題に関する調査研究等を推進する。

- ①地区別教育経営研究会 of 開催（9/1）
- ②学校経営 of 充実・推進に関する情報共有
- ③学校課題に関する調査・研究

2 研究法制部

校長 of 職能向上並びに身分確立に関わる研修、文教、法規等を推進する。

- ①上川管内公立小・中学校長教育研究大会 of 開催（8/4）
- ②旭川市小・中学校長法制研修会 of 開催
- ③全連小北海道大会、道小研究札幌大会に係る業務（10/1・2）
- ④研究提言プロジェクトによる研究推進
- ⑤各地区校長会における研修活動 of 推進
- ⑥研究紀要 of 発刊

3 組織厚生部

会員相互 of 連帯の高揚に努めるとともに、会員の福利厚生並びに親睦を通し、組織強化を推進する。

- ①組織上 of 対策活動
- ②人事要望書 of 作成
- ③「懇談会」「感謝セレモニー」 of 開催
- ④北海道公立学校教職員互助会関係業務
- ⑤全連小・道小 of 実態調査

4 調査広報部

事業遂行、待遇改善等に係わる調査並びに的確な情報 of 広報活動を推進する。

- ①「小学校時報」「教育北海道」 of 発刊
- ②予算要望書 of 作成
- ③「会報」、「会誌・研究紀要」 of 発刊
- ④情報収集・伝達

Ⅳ 役員

会 長	佐藤 忍	(大有小)
副 会 長	加藤 広章	(東光小)
〃	内藤 奏子	(日章小)
〃	小野 直久	(神楽小)
監 査 委 員	佐藤 聖士	(陵雲小)
〃	中村 直行	(神楽岡小)
事 務 局 長	佐藤 美鶴	(千代田小)
事 務 局 次 長	山名 正記	(愛宕小)
〃	成田 恵	(豊岡小)
〃	荒川美奈子	(近文第二小)
会 計	林崎 俊一	(緑が丘小)
学校経営部長	岡田 亮二	(青雲小)
研究法制部長	神山 仁	(高台小)
調査広報部長	佐藤 正友	(共栄小)
組織厚生部長	南山 夕子	(忠和小)
中央地区会長	成田麻友子	(東町小)
東部地区会長	清水 忠明	(愛宕東小)
南部地区会長	谷越 秀樹	(東栄小)
西部地区会長	千葉 昌之	(近文小)
北部地区会長	大野 昌広	(末広北小)
新永地区会長	本間 修一	(永山東小)
神居地区会長	近藤 光弘	(台場小)
神楽地区会長	貝谷 雅敏	(緑新小)